

病害虫防除技術情報第14号

平成27年9月18日

三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウの発生に注意しましょう！

1. 対象作物：ダイズ、野菜類（イチゴ、トマト、アブラナ科野菜など）、花き類（キクなど）
2. 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
3. 発生状況と今後の予測

県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、8月第4半旬～9月第3半旬では1,743頭（平成25年871.7頭）と多い状況です（図）。

1か月予報（9月17日・名古屋地方気象台発表）によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みですが、日照時間は平年並または少ない傾向であり、気温は低い傾向から平年並に推移する見込みです。

このような状況から、ハスモンヨトウの発生に好適な条件であると考えられるため、注意が必要です。

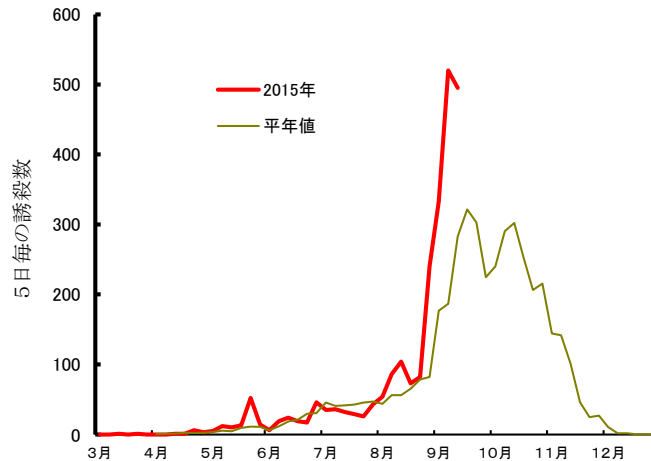


図 フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所: 松阪市嬉野川北町)

4. 防除対策

- (1) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- (3) 施設では、開口部に防虫ネットを張って、成虫の侵入や産卵を防止してください。
- (4) ダイズでは、圃場をこまめに見回り、白変葉等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
- (5) 野菜類では、育苗期や定植直後に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- (6) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、登録のある農薬で防除してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。